

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

別紙4

事業所名 薩摩川内市子ども発達支援センターつくし園
(児童発達支援事業施設)

	チェック項目	評価					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	まあまあ	いいえ	わからない	未回答		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	2	1	0	1	・事業所の教室(黒板のある部屋)が少し狭くないか。 ・金銭的な問題はあると思うが、理想としてはもう少し広くしてほしい。	・子どもが活動しやすいよう、活動スペースの確保や物品の配置もすぐめて今後検討していく。 ・クラス全員で一体感をもった療育ができるよう見直ししていく。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14	8	1	2	1	・専門性が適切であるとはいいがたいと思う。 ・先生方の数が足りないのではと思う時があります。 ・人数がもう少し多くても良い。	・現状を踏まえ、きめ細かな療育ができるよう、人員の配置を見直したり、内部研修の実施や外部研修の機会を確保して専門性を高めていくよう努めたい。 ・保育所等訪問支援の充実を図っていく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にされるか	18	5	0	2	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18	5	1	1	1	・空間としては少し狭いと思う。 ・老朽化が目立つ。	・子どもが活動しやすいよう、活動スペースの確保や物品の配置もすぐめて今後検討していく。老朽化が激しいものは、修繕等検討していく。
業務改善	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、児童発達支援計画が作成されているか	20	3	1	1	1	・相談支援事業所に年数回聞かれるだけで先生にもうプリントに印鑑を押しているだけに思える。	・児童発達支援計画の作成にあたっては、子どもと保護者のニーズに沿うよう、面談時よく協議をし、また、関係機関と密に連携をとって計画作成に反映していく。また、関係者間の情報共有や共通認識を深めていく。 ・業務の効率化を図り、支援計画が保護者にとってわかりにくいものにならないよう、作成時間を確保していきたい。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が盛り込まれているか	18	4	0	2	2	・「家族支援」「地域支援」があることを知らなかった。	・「家族支援」や「地域支援」についても、職員が支援の仕方」を職員会議等の場で共通理解を深めるとともに、利用者にも療育だけでなく、「地域支援」や「家族支援」のあり方が伝わるよう説明し支援していく。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	5	0	2	2	・集団の中で個人(各自、わが子)にあった支援が行われているかわからない。 ・具体的な内容がわからないときがある。	・児童発達支援計画の作成に当たっては、子どもや保護者のニーズを反映するように努めているが、今後も、わかりやすく支援の内容を伝えられるよう、職員の資質向上に努めていく。 ・事前の計画が保護者に伝わるよう園内で創意工夫していきます。
	8 活動プログラムⅢが固定化しないよう工夫されているか	22	3	0	0	1	・身体を使ったあそびほど感受もフルに使った活動が多くて良い。	・今後もプログラムが固定化しないよう、週や月での計画を行い、効果が期待できない場合は、週や月単位で見直すようにしていく。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11	3	3	8	1	・1,2回ぐらいしかないのでもっと増やせたら良いと思う。 ・幼稚園で特にそのような交流はないと思う。 ・個人的にはであるが、支援施設ではないと思うが、わからない。 ・まだ幼稚園、保育所に通園していないので、交流はない。	・今後も、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会をさらに持つように努める。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20	3	2	0	1	・今年度は少し説明不足のように思えた。 ・もう少しセンターと事業所の負担を考えてほしい。バスの利用料を支払うのは当然と思うけど。	・今後もわかりやすい説明に努めていく。バスの利用料のセンターと事業施設との負担額の違いは、保護者の意見等をうかがいながら見直しをするか否か検討していきたい。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらひ及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	19	5	0	1	1	・特に説明を受けていないプリントをもらって目を通し印鑑を押しているだけに思える。 ・利用回数と負担額があていないと思う。	・支援内容が利用者に伝わるよう、書面だけでなく、丁寧な説明に努める。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングⅣ)等)が行われているか	13	5	4	3	1	・つくし園では特にこの指導を受けていない。ペアレントトレーニングを知らない人も多いのではないかな。	・本年度よりペアレント・プログラム研修を数回実施しているが、まだ十分に活動が定着していないようなので、利用者にプログラムの趣旨を説明し、多くの方々に参加していただけるように努力したい。また、今後も参加者の意見を踏まえ、研修内容の充実にも努める。 ・保護者の方にもきめ細かく説明し、つくし園の療育についてその趣旨や意義を理解してもらえようように今後も努力していく。
13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況、課題について共通理解ができているか	17	6	0	2	1	・先生方々が忙しくなかなか言える言えずらさがある。 ・個別面談の機会を設けても良いのではないかな。	・現在、家庭訪問を実施しているが、利用者の方はよりマンツーマンの対応を望んでいると思われる。個別面談についても、機会がもてないか検討したい。また、今後も利用者とのコミュニケーションを密にしていきたい。	
14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	5	1	2	1	・個別面談の機会を設けても良いのではないかな。 ・年1回の家庭訪問しか面談みたいなものがないのでもう少し回数があってもいいと思う。 ・子供の様子を知る為面談は年2回ぐらいあってもいいと思った。 ・担任はもちろん事業所の先生方が親身に話を聞いてくれて助かります。	・現在、家庭訪問を実施しているが、利用者の方はよりマンツーマンの対応を望んでいると思われる。個別面談についても、機会がもてないか検討したい。 ・育児に関する助言も、関係機関と連携をとりながら適宜対応したい。 ・保護者の立場に立って、親身に相談できる療育のプロとなるよう、園内一丸となって資質向上に努めます。	

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

別紙4

事業所名 薩摩川内市子ども発達支援センターつくし園
(児童発達支援事業施設)

	チェック項目	評価					未回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	ややいいえ	いいえ	わからない	未回答			
適切な支援の提供	15 父母の会の活動を支援や、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援されているか	14	6	1	3	2	・保護者会の目的があいまいになっている面があるように思える。保護者が情報を共有できる場であればよいと思う。 ・参加しない保護者も多いし、保護者会の回数も多い。 ・保護者会は利用者の負担になるのでなくていいと思う。	・保護者会について活動意義がわからないという意見や、会への参加が負担になるとの意見があった。保護者会のあり方については、園と保護者が協議をしながら、見直す部分は見直し、有意義な会になるようにしていく。 ・日程については、保護者が参加しやすいよう配慮していく。 ・保護者の方は保護者会を事務連絡の場、協議の場のみならず、実際の療育がどのように行われているかを知りたい、そして、同じ立場にある保護者間で共有したいとの意見もあるので、今後は保護者会の運営の仕方に反映させていきたい。	
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応されているか	19	3	0	2	2		・連絡帳や個別の話で職員が親身になってくれているという意見がある一方、忙しくて相談しづらい状況や、十分に職員が対応できていない部分も意見として聞かれる。今後は、園内でよく話し合い、保護者の不満がでないよう、日々努力していく。 ・忙しくて支援が充分でない場合は、園内で共有し、支援が行き届くようにする。	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	6	0	1	2	・全職員に把握されていないと思う。 ・個別面談の機会を設けても良いのではないかと。	・職員間の支援児に対する共通理解がされていないという考えを持たれている方もいるので、今後は職員会議や職員朝会等の場で情報伝達や共通理解に努めていく。 ・ベテランの職員が退職し、ニューフェイスの先生になりましたが、支援の質が低下しないよう園一丸となって支援してまいりますのでご理解よろしくお願ひいたします。	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16	5	1	2	2		・会報等による情報発信がマンネリ化しないように園内で見直していく。	
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	19	3	0	2	2			
	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明しているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	13	6	0	5	2		・緊急マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等は作成しているが、十分に周知されていないので、職員だけでなく保護者にも周知するよう徹底していく。 ・保護者参加型の緊急時対応訓練ができないか、今後検討していく。 ・保護者へも緊急時の園の対応が理解されるよう、周知していく。	
関係機関や保護者との連携	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	15	4	0	5	2		・保護者を交えて原子力防災訓練等実施し、その中で保護者に園児を引き渡す訓練をおこなっている。今後も保護者参加型の非常災害訓練が実施できないか検討していく。	
	22 子どもは通所を楽しみにしているか	21	2	1	0	2		・今後も園児が喜んで通園できる施設であるように、療育のプログラムの工夫等を固定化しないよう配慮しながら充実させていく。	
	23 事業所の支援に満足しているか	19	5	0	0	2	・子どもの発達における大切な時期として支援をしていただきたい。必要があれば保護者として何でも協力します。	・子どもの人格の形成の重要な過程を支援している責任の重さを充分認識し、支援の在り方を常に自己反省しながら、支援をおこなっていく。 ・個別支援会議やケース会議の場で、支援が充分か検討し支援に生かしていく。	